

平成 29 年度第 4 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 30 年 3 月 10 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 26 名中 21 名出席、ガイドヘルパー1名、
緑区長、千葉市保健福祉局地域福祉課 2 名、
緑区地域振興課地域づくり支援室室長、
事務局 8 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 3 人、
社協緑区事務所 4 名）

【次 第】

- 1 開 会
- 2 区長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 第 3 期 緑区支え合いのまち推進計画の平成 29 年度活動報告について
 - (2) 広報誌「みどりのきずな第 34 号」の承認について
- 4 報 告
 - 支え合いのまち千葉推進計画（第 4 期千葉市地域福祉計画）について
 - 【地域福祉課】
- 5 その他
 - 推進協委員の任期の変更について
- 6 閉 会

【議事及び質疑要旨】

議題（2）広報誌「みどりのきずな第 34 号」の承認について

（中村和委員） 資料 9 「みどりのきずな」第 34 号の案をご覧ください。発行日は、平成 30 年 3 月 31 日を予定しており、4 月の下旬から5月上旬くらいまでには、各地域に配布できると想定している。皆様のご承認を得られれば、この内容で進めさせていただきたいと考えているので、ご確認いただきたい。

（岡本委員長） 内容については、承認いただけるか。

(全 員) 異議なし

議題(1) 第3期 緑区支え合いのまち推進計画の平成29年度活動報告について

(岡本委員長) 平成29年度の活動報告について、各地区から報告をお願いしたい。

【誉田地区】

(大槻委員) 資料5-2をご覧ください。報告は、第12地区町内自治会連絡協議会と社協誉田地区部会で分けて報告させていただく。

※資料5-2 緑区支え合いのまち推進計画(第12地区町会自治会)に沿って内容を説明。(実践活動内容に記載されている活動が、12地区町内自治会で実施した内容)

(大塚委員) ※資料5-1 緑区支え合いのまち推進計画に沿って内容を説明。(実践活動内容に記載されている活動が、社協誉田地区部会で実施した内容)

(押元委員) 「見守り活動の推進」の一環として、3月4日(日)に小学校高学年の児童とその保護者を対象に、認知症サポーター養成講座を開催した。参加人数はそれ程多くなかったが、質疑応答では、とても活発な質問が出てとても驚かされた。今後も若い世代にも認知症についての理解を深めていくことで、自然な形で「見守り」の芽が育っていってくれるといいと思った。

(石本委員) 我々の仕事は、施設内で完結してしまうことが多く、地域との関わりについては難しさを感じることもある。そんな中で、我々の施設では、幼稚園や学校との交流活動を実施しており、活動を通じてお年寄りの笑顔を引き出したいという想いと、青少年の育成にもひとつの役を果たしていければという想いで実施している。

(鴨委員) 「千南会 広報紙」をご覧ください。千南会は、精神障害者やそのご家族の方を何とか元気づけていくという活動を行っている。緑区の引きこもってしまっている精神障害者の方々にもぜひ、我々の活動に関わっていただきたい。

(岡本委員長) 誉田地区の報告に対して何か質問はあるか。

(中村和委員) 資料5-1の中で、親子バス遠足という活動があるが、具体的にどこに行ったのか、また費用はどうしているのか。

(大塚委員) 今年度は「成田ゆめ牧場」に行った。6年生まで行き先が重ならない様に毎年場所も変えている。毎年10月頃に実施しており、社協誉田地区部会から5万円、その他に誉田の子ども会からも2~3万円の補助を受けている。

(松戸委員) 資料5-1の「防災訓練の充実」のところで、「地下水井戸ポンプ(発電

機)の所在地調査」とあるが、具体的にはどのような活動を行っているのか。

(大塚委員) 大きい災害になると、電気やガスも来なくなることが考えられるため、誉田地区の水田組合の方では、可搬式の大型発電機を持っている。それ以外の団体、個人、会社等で所有しているものもあると思われるので、それを調査しようというものである。

(岡本委員長) 続いて、おゆみ野地区から報告をお願いしたい。

【おゆみ野地区】

(中村輝委員) おゆみ野地区では、資料6のとおり「高齢者が集う場の開設・拡充」を重点目標に掲げ、家に閉じこもりがちな高齢者を対象にした「ふれあい散歩」を推進してきた。年3～4回の実施目標を立てており、今年度は4回の目標を立てたが、うち2回は雨のため室内での体操等の実施となった。

なお、おゆみ野地区には小さな子どもたちや若い子育て世代の方が多くいるので、来年度からは、そこにも注目を当てて事業を展開していきたいと考えている。

(池田委員) あんしんケアセンター鎌取では、おゆみ野地区部会の「ふれあい散歩」にも毎回参加させていただいている。その他、地域の高齢者の集いの場がなかなか見つからないという相談を受け、実際に「みどりのカフェ」、「認知症カフェ虹の輪」という集いの場の立ち上げに関わりを持った。

また、住民向けに介護保険制度をどうやって使ったらよいかという説明会を実施した。説明会は、実際に現場で動いているケアマネジャーとの座談会も取り入れて行った。

(篠原委員) 第44地区町内自治会連絡協議会では、基本的に各団体の事業に協力をするという立場をとらせていただいている。

なお、防災関係では、おゆみ野地区には避難所運営委員会が11あり、今まではバラバラに活動していたが、避難所運営委員会おゆみ野地区という委員会を作り、それぞれの問題や課題等の共有を行うようにした。

また、地域運営委員会で研修会を企画し、おゆみ野中央病院から講師を招き、中央病院が地域とどのように関わりを持っていくかという講演をしてもらった。

(松戸委員) おゆみ野泉谷自治会では、見守り活動に関するアンケートを年1回行っている。今年度も1月にアンケートを実施し、約50%の回答があった。見守り希望者が5名、協力員は7名の方から応募をいただいた。今後、その7名で細かな運営方法を決定し、実施していきたいと考えている。この活動が泉谷自治会で根付き、隣の自治会やおゆみ野地区の他の自治会でも見守りの気運が高まっていただければと考えている。

(岡本委員長) おゆみ野地区の報告に対して何か質問はあるか。

(中村和委員) 資料6の平成29年度の評価をBとした理由は何か。

(中村輝委員) 平成29年度は4回実施予定であったが、うち2回は雨のため室内で体操等を行った。雨になるとどうしても参加人数が減ってしまい例年に比べて人数が減ったということと、散歩は4回のうち2回しか実施できなかったというのが理由である。

(中村和委員) 参加者の固定化や参加者減少の傾向はみられるか。

(中村輝委員) 参加者は喜んで参加してくれている。参加人数の減少はあるが、PR方法に問題があるのではないかと考えている。

(岡本委員長) 連協の各避難所運営委員会が意見交換・情報交換をするというのは、とてもいい事だと思う。

(篠原委員) 先日の第44地区町内自治会連絡協議会の会議の場で、避難所運営委員会の委員長も自治会の役員の中に入れももらいたいという話もした。また、民生委員の方が避難所運営委員会に入っただけのほうがいいと思う。

(岡本委員長) 続いて、椎名地区から報告をお願いしたい。

【椎名地区】

(本田委員) 資料7をご覧ください。椎名地区では2つの項目を重点取り組み項目としている。

まず、「見守り活動の推進」であるが、「見守り地域の実施箇所の拡大」については組織化には至らなかったため、評価をDとした。これについては、来年度以降も継続して取り組んでいきたいと考えている。

次に、「地域と学校の交流」であるが、こちらは目標を全て達成することが出来た。特に福祉教育については、肢体・視覚・聴覚障害者とのふれあいや体験等を通じて、障害についての学びを実施した。この子たちが将来、福祉にとっても関心のある大人になっていただけると嬉しいと思っている。

(岡本委員長) 椎名地区の報告に対して何か質問はあるか。

(池田委員) あんしんケアセンター鎌取では、古市場団地お元気確認委員会の会合に参加させていただいている。椎名地区部会の方々には、我々が高齢者と関わっていく中で、とてもよい繋がりを作らせていただいている。

(岡本委員長) 続いて、土気地区から報告をお願いしたい。

【土気地区】

(茂田委員) 資料8をご覧ください。土気地区では、「見守り活動の推進」を重点取組項目としている。目標としては、「見守り」1つ、「いきいきサロン」1つ、「支え合い」1つの立ち上げを掲げていたが、実際は「いきいきサロン」1つ、「支え合い」1つの立ち上げに留まり、評価はCとした。理由としては、「いきいきサロン」については参加者の固定化が進み、新しい参加者があまり増えていないということ。また、「見守り」については、大きな進展がみられなかったということが挙げられる。

(野崎委員) 第23地区町内自治会連絡協議会では、地域振興課の支援の基、イオンスタイルが実施している移動販売に協力を行っている。現在、土気地区では、9箇所で開催されている。

(室谷委員) 最近の話であるが、あすみが丘プラザで地域の主婦の方10名くらいで子ども食堂を開いた。満足に食事を取れていない子がいるという現状を伺い、その驚きとその活動を応援していきたいと考えている。

また、自分自身が関わっている活動で、土気にNPO法人「ぱれっと」という団体がある。地域の中で家事支援に関する有償ボランティアを行っている。その活動の中で、年2回あすみが丘プラザのロビーで「ふれあいの集い」という催しを行っている。5年近く続いており、どなたでも参加でき、100円でケーキ等がいただける。13時から16時の間に約130名の方が来ていただいている。

(江澤委員) 自分は民生委員としての見守り活動は、継続的に行っている。

なお、緑区の民児協では、独自に名刺型の携帯用「あんしんカード」を作成し、高齢者の方に配布している。地域で気になるような方がいれば、カードを渡すので、言っていただきたい。

(中村和委員) 自分は、今までどおり福祉有償運送で活動をしている。現在、会員は約144名おり、実際に利用している方は、毎月40～50名くらいである。自分自身も高齢になってきており、将来の活動に危惧を抱いている。

(布施委員) あんしんケアセンター土気としては、民生委員や社協土気地区部会、町内自治会の代表の方等と月1回地域の情報共有や課題について話し合いをする場を持たせていただいている。また、社協土気地区部会のいきいきサロンにも出向き、健康づくりや介護保険、成年後見制度等について情報提供をさせていただいている。見守り活動を実施している団体の会合にも参加し、活動の把握や地域の状況の把握に努めている。

(小林委員) 我々は障害を持った方の入所の施設を運営している。我々は社会福祉法人として如何に地域に福祉を推進していくかというところが大きな問題だと思う。そのために、地域のイベントである「福祉フェスティバル」や「緑区ふるさとまつり」において、福祉啓発ブースというものを出品させていただき、障害や高齢による麻痺の体験や福祉車両の見学等をしていただ

いている。

また、施設周辺の工業団地の方にも施設を知っていただくためにAEDの講習会を施設で開催し、工業団地の方にも参加いただき、併せて施設の見学もしていただいている。

また、若い世代に障害について知ってもらおうということで、中学生に対する福祉教育を今年度土気中学校で実施した。これをきっかけに、来年度は土気の4中学校で実施する予定であり、毎年継続して行っていきたいと考えている。

(廣田委員) 土気駅からあすみが丘プラザまでの2キロ程の歩道が点字ブロックで繋がりに、非常に歩き易くなった。また、土気駅のホームのような島式と呼ばれる両側に電車が入るホームの警告ブロックの内側に1本線が入るようになってきている。これは、警告ブロックのどちら側が線路でどちら側が内側なのかが分かるためのものである。

次に、「みどりのきずな」34号の原稿を見ていただきたい。この記事はおゆみ野南小学校でガイドヘルプ体験の福祉教育を行った時の写真である。自分は、千葉市身体障害者連合会という組織に所属しながら、このようにいろいろな学校等に出向き、子どもたちと触れあいながら、福祉教育を行っている。子どもたちに障害について知ってもらうのは、とても重要なことなので、学校等から要望があったら、ご紹介いただきたい。

(岡本委員長) 土気地区の報告に対して何か質問はあるか。

(篠原委員) 学校から依頼を受けた場合に、廣田委員にお願いすれば来ていただけるのか。

(廣田委員) できれば、千葉市身体障害者連合会や社協を通していただけると、話がスムーズに行くかと思う。

(松戸委員) 子ども食堂は定期的の実施していくのか。また、あすみが丘プラザには調理設備があるのか、食料品はどうしているのか、伺いたい。

(室谷委員) 月1回実施予定である。あすみが丘プラザには料理室があり、食料品は生活クラブから無料でいただいていると聞いている。

(廣田委員) あすみが丘プラザはこの6月から工事で使用できなくなるが、対応は考えているのか。

(室谷委員) 土気公民館の調理室を借りる予定である。

(大塚委員) 点字ブロックについては、ものによって点の大きさが違うということを知ったことがある。また、色も鮮やかな黄色だと弱視の方には分かり易いと思うが当事者の立場からはいかがか。

(廣田委員) 点字ブロックは、2001年にJISの規格で統一されたが、それ以前には様々なタイプの点字パターンが採用されており、現在はJIS規格と

規格外のものが混在している状態である。また、最近では歩道ごとデザインされた点字ブロックもあるが、弱視の方には分かりづらいので止めてもらいたい。また、駅の階段の段鼻には、周りの床と区別できるよう、コントラストのはっきりしたものを使っていただくと階段が見つけ易くて怖さが半減する。その辺を改善していただくと、バリアフリーな街、ユニバーサルデザインな街ということになっていくと思う。

(大塚委員) ぜひ、この会でその辺も推進して行っていただきたい。

報告 支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市推進計画）について【地域福祉課】

(黒木主査) ※資料10・11について説明。

- ・今まで区計画のリーフレットはあったが、市のリーフレットの作成も検討している。
- ・第4期計画の冊子は5～6月頃の配布を予定している。

その他 推進委員の任期の変更について

(柴田所長) これまで、推進協委員の任期については1年ということで各団体にお願いしていたが、他の区では2～3年となっているところが多く、1年であった区も3年への変更を検討している。事務局としては、緑区の推進協委員の任期についても、次回以降は3年任期でお願いしたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

(岡本委員長) 任期の変更については、承認いただけるか。

(全 員) 異議なし

委員長が閉会を宣し、第4回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。